

人々の参加によって社会の革新を目指す『インクルーシブデザイン』とは？

多様な個性や能力をもつユーザーの参加によって社会の革新をめざすインクルーシブデザイン。

障害のある人や高齢者といった身体的に特別なニーズをもつ人の課題だけではなく、貧困や環境問題、災害など、さまざまな社会的な課題に対してデザインによる解決をめざす実践です。

INCLUSIVE DESIGN NOW 2011では、リサーチプロセスの公開・共有の視点から、

展示・シンポジウム・ワークショップを通して、社会的包摂をめざすインクルーシブデザインの可能性を紹介します。



⇒ しらべる ⇒ みつける ⇒ ためす ⇒ つくる ⇒ つかう ⇒

INCLUSIVE DESIGN NOW 2011

京都大学総合博物館 (京都市左京区吉田本町)

>>> <http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

2011年11月16日(水) - 12月4日(日) 休館: 月・火曜日(平日、祝日にかかわらず)

開館時間: 9:30-16:30(入館16:00まで)

観覧料: 一般 400円(300円) 高校・大学生 300円(200円) 小・中学校 200円(100円)

※身体障害者手帳をお持ちの方、および70歳以上の方は無料になります

※()内は20名以上の団体料金。また団体20名につき、引率者1名分の観覧料が無料になります

主催: 京都大学総合博物館 共催: INCLUSIVE DESIGN NOW実行委員会 協力: インクルーシブデザイン研究所、金沢美術工芸大学・荒井研究室、九州大学・平井研究室、京都工芸繊維大学、京都造形芸術大学ULTRA FACTORY、財団法人たんぼの家、ヘレンハムリンセンターフォーデザイン 協賛: オムロンヘルスケア株式会社、株式会社モリサワ、ココロファニチャー株式会社

展示作品



アサノハウス 大学院生・1人暮らしの約7歳の部屋を再現します。リアルな生活を観察することで、日常的行為にひそむ創造性を発見する場をつくります。



金沢美術工芸大学・荒井研究室 ユーザー参加型による研究開発プロジェクトから生まれたプロダクトや製品デザイン専攻の演習授業のモデルをプロセスとともに紹介します。



オムロンヘルスケア株式会社 多様な視覚障害者に参加してもらい開発した音声付電子体温計(MC-174V)をプロセスとともに紹介します。



九州大学・平井研究室 こども×くすり×デザイン実行委員会との共同研究「こどもの服薬に関するデザイン研究」や、災害時に死者と生きる双方の尊厳に配慮した遺体袋「ORI」を紹介しします。



京都大学総合博物館・塩瀬研究室 「答えが出ないけど深く考えられる教材：宇宙箱舟」を小中高校の先生とともに開発しているプロセスを紹介しします。また、誰もが楽しめる「みんなをまきこむ動物園」のデザインについても紹介しします。



コクヨファニチャー株式会社 障害のあるユーザー参加型による商品企画開発ワークショップから生まれ、現在販売を展開しているMadre(マドレ)を開発プロセスとともに紹介します。



studio-L 人と人をつなぎ、社会の課題を解決できるようなデザインの手を支援するstudio-Lの仕事から「震災+design」と千里リハビリテーション病院におけるデザインの取り組みを紹介しします。



尊厳のためのデザインリサーチプロジェクト 関係性における尊厳をテーマに、医療や福祉のケアの現場におけるデザインリサーチのプロセスと成果を紹介しします。(主催：財団法人たんぼの家 / 2010年度ファイザープログラム〜心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援による助成)



ロイヤルカレッジオブアート イギリスのロイヤルカレッジオブアート(英国王立芸術大学院)のヘレンハムリンセンターフォーデザインによる世界巡回展示企画「共感するイノベーション インクルーシブデザイン 10年の歩み」と現在進行中のクロアチア、ボスニアヘルツェゴヴィナでのデザインチャレンジを紹介しします。

関連企画

シンポジウム

「尊厳のためのデザインリサーチプロジェクト」

11月19日(土) 13:30-17:00 (受付: 13:00-)

京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールⅡ

パネリスト: 家成俊勝 (dot architects 主宰)

笹岡周平 (インテリアデザイナー)

塩瀬隆之 (京都大学総合博物館准教授)

鈴木ふみ (デザインリサーチ)

鳥海直美 (四天王寺大学人文社会学部准教授)

中坊壮介 (プロダクトデザイナー)

水野大二郎 (京都造形芸術大学講師)

森下静香 (財団法人たんぼの家事務局長)

浅野翔・森村佳浩 (CONNECT)、他

参加費: 1,000円 定員: 100名

⇒ 申し込み先 songen@popo.or.jp

セッション

「商品化にむけたユーザー参加型のデザインプロセス」

12月4日(日) 13:30-16:00

京都大学総合博物館ミュージアロ

パネリスト: 荒井利春 (金沢美術工芸大学教授)

岩隅美穂 (京都大学大学院医学研究科准教授)

木下洋二郎 (コクヨファニチャー株式会社デザイン室長)

中坊壮介 (プロダクトデザイナー)

水野大二郎 (京都造形芸術大学講師)

森下静香 (財団法人たんぼの家事務局長)、他

参加無料 (参加には観覧券が必要です) 定員: 50名

⇒ 申し込み不要です

シンポジウム

「INCLUSIVE DESIGN NOW 2011」

12月3日(土) 12:50-15:30 (受付: 12:20-)

京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール

キーノート: ジュリア・カセム (ロイヤルカレッジオブアート

(英国王立芸術大学院)のヘレンハムリンセンターフォーデザイン客員上席研究員)

山崎亮 (studio-L 代表・京都造形芸術大学教授)

パネリスト: 荒井利春 (金沢美術工芸大学教授)

家成俊勝 (dot architects 主宰)

塩瀬隆之 (京都大学総合博物館准教授)

播磨靖夫 (財団法人たんぼの家理事長)

平井康之 (九州大学大学院准教授)

水野大二郎 (京都造形芸術大学講師)

参加費: 1,000円 定員: 300名

⇒ 申し込み先 idnow2011@popo.or.jp

ワークショップ

「展示会をインクルーシブにするワークショップ」

11月20日(日) 13:00-16:30 (受付: 12:30-)

京都大学総合博物館

講師: 平井康之 (九州大学大学院准教授)

インクルーシブデザインナウをグループ鑑賞し、多様なユーザーと共に今回の展示デザインを考えましょう。

定員: 9名 ⇒ 申し込み先: inclusive@popo.or.jp

【申し込み方法】

参加のイベント名と、お名前／勤務先または在学先名／電話番号を明記のうえ、各関連企画の申し込み先にE-mailでお送りください。FAX / 郵送の場合は実行委員会事務局まで申し込みください。

*会期中には、ほかに関連イベントを計画しています。ウェブサイトで新しい情報をご確認ください。

お問い合わせ・アクセス

内容に関するお問い合わせは:

INCLUSIVE DESIGN NOW 実行委員会事務局

630-8044 奈良市六条西3-25-4 たんぼの家内

Tel: 0742-43-7055 / Fax: 0742-49-5501

http://popo.or.jp/

E-mail: inclusive@popo.or.jp

会場に関するお問い合わせは:

京都大学総合博物館

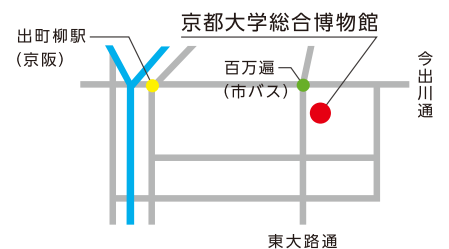
606-8501 京都市左京区吉田本町

Tel: 075-753-3272 / Fax: 075-753-3277

http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

E-mail: info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

会場: 京都大学総合博物館 (京都市左京区吉田本町)



・京都市バス「百万遍(ひゃくまんべん)」

停留所下車 徒歩約2分

・JR/近鉄京都駅から17,206系統

・阪急河原町駅から3,17,31,201系統

・地下鉄烏丸線今出川駅から201,203系統

・地下鉄東西線東山駅から31,201,206系統

京阪本線「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車 徒歩15分

1番出口から今出川通りを東進、

百万遍(ひゃくまんべん)交差点を南に折れてすぐ